

平成 2 4 年上半期 火災・救急・救助統計

上半期（平成 2 4 年 1 月 1 日～平成 2 4 年 6 月 3 0 日）の火災・救急・救助統計は次のとおりです。

火 災

出火原因 1 位「放火・放火の疑い」

上半期に市内で発生した建物火災 2 6 件のうち住宅火災は 1 3 件ありました。

火災の出火原因の 1 位は「放火・放火の疑い」です。深夜や未明に、建物の周囲・駐車中の車などが狙われますので、対策としては、家の周りは外灯を付けるなど明るくし、燃えやすい物を置かないなどの「放火されない地域づくり対策」が必要です。

火災概況

▲は減を示す

区分		平成 24 年上半期	平成 23 年上半期	比 較
火災件数合計（件）		56	73	▲ 17
火災種別	建物火災	26	37	▲ 11
	うち住宅火災	13	24	▲ 11
	林野火災	2	11	▲ 9
	車両火災	10	9	1
	船舶火災	0	0	0
	その他の火災	18	16	2
死者（人）		1	3	▲ 2
負傷者（人）		4	7	▲ 3

出火原因

▲は減を示す

火災原因	平成 24 年上半期		平成 23 年上半期		比 較	
	全体	住宅	全体	住宅	全体	住宅
たばこ	4	2	0	0	4	2
こんろ	0	0	5	4	▲5	▲4
かまど	0	0	0	0	0	0
風呂かまど	1	1	2	1	▲1	0
炉・焼却炉	1	1	0	0	1	1
ストーブ	1	1	3	2	▲2	▲1
煙突・煙道	1	1	2	3	▲1	▲2
排気管	1	0	0	0	1	0
電気装置	3	1	0	0	3	1
電灯・電話等の配線	0	0	1	0	▲1	0
配線器具	1	1	1	1	0	0
火あそび	3	0	2	0	1	0
マッチ・ライター	1	0	1	0	0	0
たき火	5	0	16	1	▲11	▲1
溶接機・切断機	0	0	1	0	▲1	0
灯火	0	0	2	2	▲2	▲2
火入れ	1	0	0	0	1	0
放火	2	0	11	4	▲9	▲4
放火の疑い	5	0	2	1	3	▲1
取灰	1	0	0	0	1	0
その他	3	1	3	0	0	1
不明・調査中	22	4	21	5	1	▲1
合計	56	13	73	24	▲17	▲11

救 急**出動件数が３２２件増加**

上半期に市内で発生した救急出動件数は、６，５０６件で、昨年同期と比較すると、出動件数は３２２件、搬送人員は１３５人とそれぞれ増加となりました。事故種別出動内訳は、急病が４，００４件と最も多く全体の約６２％を占め以下、一般負傷１，０１９件（約１６％）、交通事故６１６件（約９％）でした。

医療機関へ搬送した傷病者の内、軽症患者の割合は、約４９％を占めています。緊急性のない軽症患者の方を救急車で搬送すると救急病院に患者が集中するため、本当に必要な方の搬送病院がなくなることが全国的にも問題になっています。

１１９番通報する前にもう一度考えてみてください。そうする事により本当に救急車を必要とする方の貴い命が救われることとなりますので、救急車の適正利用にご協力をお願いします。

救急概況

区 分	平成２４年上半期	平成２３年上半期	比 較
出 動 件 数	６，５０６	６，１８４	３２２
搬 送 件 数	５，８５１	５，６８８	１６３
不 搬 送 件 数	６５５	４９６	１５９
搬 送 人 員	５，９１８	５，７８３	１３５

救 助**水難事故に注意**

上半期に市内で発生した救助件数は４６件でした。その主な内訳は、交通事故２７件で全体の約５９％を占め、次いで水難事故３件、建物等による事故３件、ガス及び酸欠事故１件、機械による事故１件、その他の事故１１件でした。

昨年同期と比較すると、出動件数は約３％（２件増）の増加となりました。

出動件数４６件の内、現場で活動した件数は３３件で３８人を救助しました。活動件数に入っていない１３件については、救助隊が到着するまでに自力脱出したり、付近の住民の方などにより救出されたものです。

夏の行楽シーズンは水の事故が多発するので十分注意してください。

救助概況

区 分	平成２４年上半期	平成２３年上半期	比 較
出 動 件 数	４６	４４	２
活 動 件 数	３３	２７	６
救 助 人 数	３８	３２	６